

競技におけるアクシデントについて

- ・ 大会期間中において体調不良や怪我をした場合、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長・看護師にて協議し、出場か棄権かを決定する。
棄権した場合の順位は最下位とする。[決勝の場合は決勝進出者の最下位]
- ・ 選手が自分の演技時間内に演技コートにいない場合は、棄権とみなす。
- ・ 演技中の体調不良や怪我により、途中棄権[本人が退場]をした場合は、演技をした所までの採点とする。
- ・ 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技をした所の採点とする。
- ・ 演技中にバトンが折れた場合は、事故とみなし再演する事が出来る。審査員は、演技をした所までの採点をし、再演技の判断は、本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。再演技を行った場合は、再演技の採点とする。
- ・ 複数コートによる競技中に、審査員から赤旗が挙げった場合、音楽の停止は行なわずその赤旗の挙げったコートに審査員長が出向き対処する。
- ・ その他全てのアクシデントに対し、スピーディーに且つ誠意を持って対応する。